

<平成 15 年度事業概要>

事業目的と背景

算数・数学教育分野では、過去 10 年間、理数科の一翼として JICA の技術協力事業が展開されており、数々の国別協力経験が蓄積されてきた。最近では、日本の算数・数学教育に対する世界的な評価の高まりの中で、特に算数・数学に限定しての技術協力事業案件もみられるようになり、算数・数学教育分野は、今後も、JICA の技術協力事業の中核的位置を占めることが予想されている。その一方で、多くの協力経験は協力した関係者内に留まり、新規協力案件に対して活用されぬ状況があり、未経験のままに取り組む困難さから、新規案件に対して新規協力大学が現れない状況がある。

本事業の目的は、これまでの協力経験の中で、特に算数・数学教育の立場から共有すべき経験は何か、そして、今後の協力案件に対して、協同して取り組むべき研究主題は何かを明らかにすることである。

事業内容

- ・ 事務局関係者 5 名と専従研究支援者を中心に、過去の協力経験を集約・類型化する体制作りを進め、委員会関係者で広く課題を共有する。
- ・ 会合は、CRICED 東京分室を原則とする。会議は研究(経験)発表と討議、文部科学省からの助言と総括を中心に行う。
- ・ 登録者以外の協力者の参加を促し、移動時間節約のために、テレビ会議システムを適宜活用する。
- ・ また、国際フォーラムを開催するなどして、広く共有化を促す。
- ・ 事務局機能の推進には研究支援者が必要である。